

小数でわる計算 (480÷1.6, 810÷2.25 など)

P.37~P.39 の6行目

🍷 きょうの学習にはいるよ。しっかりと説明を読んでいこう。

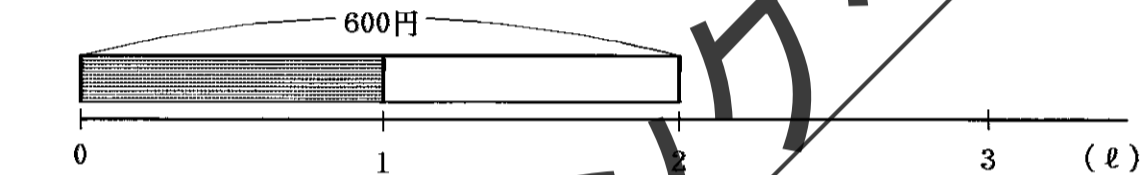
🍷 2.5ℓが800円の油1ℓのねだん 🍷

次の問いに答えなさい。

- (1) 2ℓの代金が600円の油1ℓのねだんを求めなさい。
- (2) 2.5ℓの代金が800円の油1ℓのねだんを求める式を書きなさい。
- (3) 2.5ℓの代金が800円の油1ℓのねだんを、0.1ℓのねだんをもとにして求めなさい。

🍷 説明 🍷

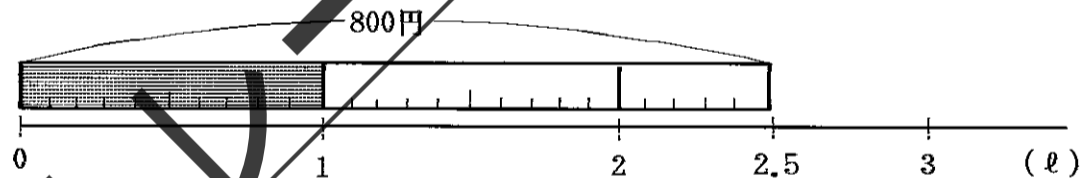
(1) 2ℓの代金が600円の油1ℓのねだんは、次のようにして求められます。



$$\boxed{\text{代金}} \div \boxed{\text{買った量 (単位ℓ)}} = \boxed{\text{1ℓのねだん}}$$

$$600 \div 2 = 300 \quad \text{答え } 300 \text{円}$$

(2) 油の量が小数で表されていても、そのねだんを求めるには、整数のときと同じようにわり算の式をつくります。



2.5ℓの代金が800円の油1ℓのねだんを求める式は、次のようになります。

$$800 \div 2.5$$

(3) 0.1ℓ = 1dl, 2.5ℓ = 25dl ですから

$$0.1\text{ℓ} (1\text{dl}) \text{のねだん} \quad \dots\dots 800 \div 25 = 32 \text{ (円)}$$

1ℓのねだんは0.1ℓのねだんの10倍ばいですから

$$1\text{ℓのねだん} \dots\dots 32 \times 10 = 320 \text{ (円)}$$

答え 320円

$$\begin{array}{r} 32 \\ 25 \overline{)800} \\ \underline{75} \\ 50 \\ \underline{50} \\ 0 \end{array}$$

🍷 説明の(2), (3)のことから、 $800 \div 2.5 = 320$ となることがわかるね。では、トレーニングをしていこう。

🍷 トレーニング 🍷

❶ (0144) P.37~P.39 の6行目

6.4ℓの重さが5440gの油があります。これについて、次の問いに答えなさい。

- (1) この油1ℓの重さを求める式を書きなさい。

(2) この油 0.1ℓ の重さは何 g ですか。
(式)

[]
(筆算)

答え

(3) この油 0.1ℓ の重さをもとにして、1ℓ の重さを求めなさい。
(式)

答え

☺ 6.4ℓ = 64dl ですから、0.1ℓ つまり 1dl の重さは $5440 \div 64$ で求められるね。では、次のトレーニングに進もう。

2 (0145) P.37~P.39 の 6 行目

1.5ℓ の代金が 420 円のしょう油があります。これについて、次の問いに答えなさい。

(1) このしょう油 1ℓ のねだんを求める式を書きなさい。

(2) このしょう油 0.1ℓ のねだんをもとにして、1ℓ のねだんを求めなさい。

(式)

[]
(筆算)

答え

☺ ここで、答え合わせをしよう。

☺ 前のトレーニングより、 $5440 \div 6.4 = 850$ 、 $420 \div 1.5 = 280$ となることがわかったね。ここで、わる数が小数の場合の計算のしかたをくわしく調べていこう。

~~~~~ ◻  $480 \div 1.6$  と  $4800 \div 16$  を比べる ◻ ~~~~~

1.6ℓ の代金が 480 円の油と 16ℓ の代金が 4800 円の油の 1ℓ のねだんを求める式は、それぞれ

$$480 \div 1.6 \quad 4800 \div 16$$

です。 $480 \div 1.6$  の商と  $4800 \div 16$  の商を比べなさい。

### 説明

1.6ℓ の代金が 480 円の油 1ℓ のねだんは、次のようにして求められます。

$$0.1\ell \text{ のねだん} \cdots \cdots 480 \div 16 = 30 \text{ (円)}$$

$$1\ell \text{ のねだん} \cdots \cdots 30 \times 10 = 300 \text{ (円)}$$

• 1.6ℓ の代金が 480 円の油 1ℓ のねだんを求める式は、 $480 \div 1.6$  ですから

$$480 \div 1.6 = 300$$

となります。

• 16ℓ の代金が 4800 円の油 1ℓ のねだんを求める式を計算すると

と

$$4800 \div 16 = 300$$

です。

$$\begin{array}{r} 30 \\ 16 \overline{) 480} \\ \underline{48} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 300 \\ 16 \overline{) 4800} \\ \underline{48} \\ 0 \end{array}$$

- $4800 \div 16 = 300$  で、わる数の16は1.6の10倍、わられる数の4800は480の10倍、商の300は  $480 \div 1.6$  の商と同じになっています。

$$480 \div 1.6 = 300$$

↓10倍 ↓10倍 ∴同じ

$$4800 \div 16 = 300$$

☺  $480 \div 1.6$  の商と  $4800 \div 16$  の商は同じだから、小数のわり算  $480 \div 1.6$  は整数のわり算  $4800 \div 16$  に直して計算できるんだね。

🌸🌸🌸 トレーニング 🌸🌸🌸

類題 6480

☑ (0146) ⇨類題 6480 P.37~P.39 の6行目

2.25 m の重さが 810 g のはり金と 225 m の重さが 81000 g のはり金の 1 m の重さを求める式は、それぞれ

$$810 \div 2.25, \quad 81000 \div 225$$

です。次の問いに答えなさい。

- (1) 2.25 m の重さが 810 g のはり金 1 m の重さを、  
0.01 m の重さをもとにして求めなさい。  
(式)

(筆算)

答え

- (2)  $810 \div 2.25$  の商はいくつになりますか。

[ ]

- (3) 225 m の重さが 81000 g のはり金 1 m の重さを求めなさい。  
(式)

(筆算)

答え

- (4)  $810 \div 2.25$  の商と  $81000 \div 225$  の商は同じですか。

[ ]

☺ 上のトレーニングはできたね。では、答え合わせをしよう。

810 ÷ 2.25 の商は、  
わる数とわられる数の両方を  
それぞれ100倍した  
81000 ÷ 225 の商と同じ  
になるのね。

|       |      |      |      |   |    |
|-------|------|------|------|---|----|
| 810   | ÷    | 2.25 | =    | □ | .  |
| ↓     | 100倍 | ↓    | 100倍 | . | 同じ |
| 81000 | ÷    | 225  | =    | □ | .  |

☺  $480 \div 1.6$  の商はわる数とわられる数の両方をそれぞれ10倍した  $4800 \div 16$  の商と同じだったね。また、 $810 \div 2.25$  の商はわる数とわられる数の両方をそれぞれ100倍した  $81000 \div 225$  の商と同じだね。

では、これまでのことをまとめておこう。

＝ 学習 ＝

小数のわり算では、わる数とわられる数の両方に同じ数をかけて、わる数を整数に直してから計算します。

$$\begin{aligned} \text{【例】 } 480 \div 1.6 &= (480 \times 10) \div (1.6 \times 10) \\ &= 4800 \div 16 = 300 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} 810 \div 2.25 &= (810 \times 100) \div (2.25 \times 100) \\ &= 81000 \div 225 = 360 \end{aligned}$$

☺ わる数を整数に直すときは、10とか、100とか、1000とかをわる数とわられる数の両方にかけるんだよ。

🌸🌸🌸 トレーニング 🌸🌸🌸

類題 6480

4 (0147) ⇨類題 6480 P.37～P.39 の6行目  
次の□に当てはまる数を書きなさい。

$$\begin{aligned} (1) \quad 4 \div 0.5 &= (4 \times \square) \div (0.5 \times 10) \\ &= \square \div 5 = \square \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (2) \quad 12 \div 0.03 &= (12 \times 100) \div (0.03 \times \square) \\ &= 1200 \div \square = \square \end{aligned}$$

5 (0148) ⇨類題 6480 P.37～P.39 の6行目  
次のわり算をしなさい。

(1)  $3 \div 0.6$

(2)  $18 \div 0.3$

(3)  $56 \div 0.07$

(4)  $72 \div 0.08$

☺ ここで、答え合わせをしよう。

6 (0149) ⇨類題 6480 P.37～P.39 の6行目  
次の□に当てはまる数を書きなさい。

$$(1) \quad 6 \div 0.3 = (6 \times \square) \div 3$$

$$(2) \quad 300 \div 0.15 = (300 \times \square) \div 15$$

$$(3) \quad 28 \div 0.004 = (28 \times \square) \div 4$$

$$(4) \quad 72 \div 0.09 = (72 \times \square) \div 9$$

☺ (1)では、 $0.3 \times 10 = 3$  だから、わられる数の6にも10をかければいいんだよ。では、答え合わせをしておこう。

7 (0150) ⇨類題 6480 P.37～P.39 の6行目  
例にならって、次のわり算をしなさい。

【例】  $63 \div 1.8 = (63 \times 10) \div (1.8 \times 10)$   
 $= 630 \div 18 = 35$

$$\begin{array}{r} 35 \\ 18 \overline{)630} \\ \underline{54} \phantom{0} \\ 90 \\ \underline{90} \\ 0 \end{array}$$

(1)  $1008 \div 2.8$

(2)  $322 \div 0.35$

(3)  $20 \div 1.25$

☺ 小数のわり算でたいせつなことは、わる数とわられる数の両方に同じ数をかけて、わる数を整数に直してから計算するということだよ。  
 答え合わせをしてから、次のトレーニングに取り組もう。

㊦ (0151) ⇨類題 6480 P.37~P.39 の6行目  
 0.8ℓの代金が320円の油があります。この油1ℓのねだんを求めなさい。  
 (式)

答え \_\_\_\_\_

☺ 式はきちんとつくることができたかな。では、答え合わせをしよう。

教育社

# 小数でわる筆算 (82.8÷3.6, 6.21÷2.3 など)

P.39 の 7 行目~P.39 の最後

☺ さっそく、きょうの学習にはいろう。

〇 20.8cm を 5.2cm ずつ分けると 〇 20.8cm のテープから 5.2cm のテープは何本とれますか。

- (1) 20.8cm を約20cm, 5.2cm を約5cm とみて、答えの見当をつけなさい。
- (2) 何本とれるかを求める式を書きなさい。
- (3) 20.8cm, 5.2cm を mm 単位に直して、何本とれるかを求めなさい。

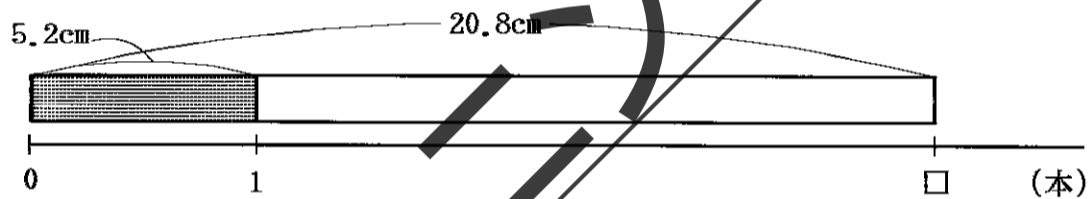
## ☺ 説明 ☺

- (1) 20.8cm を約 20cm, 5.2cm を約 5cm とみて、答えの見当をつけると

$$20 \div 5 = 4$$

答え 約 4 本

- (2) テープが何本とれるかを求めるには、長さが小数であっても、整数のときと同じようにわり算の式をつくりまます。



20.8cm のテープから 5.2cm のテープが何本とれるかを求める式は

$$20.8 \div 5.2$$

となります。

- (3) 20.8cm = 208mm, 5.2cm = 52mm ですから、mm の単位に直すと、テープが何本とれるかは、次のように求められます。

$$208 \div 52 = 4$$

答え 4 本

$$\begin{array}{r} 4 \\ 52 \overline{) 208} \\ \underline{208} \\ 0 \end{array}$$

- テープが何本に分けられるかを求める式は

$$\text{cm の単位で考えると } 20.8 \div 5.2 = \square$$

↓10倍 ↓10倍 : 同じ

$$\text{mm の単位で考えると } 208 \div 52 = \square$$

となります。ですから、 $20.8 \div 5.2$  は次のように計算できます。

$$\begin{aligned} 20.8 \div 5.2 &= (20.8 \times 10) \div (5.2 \times 10) \\ &= 208 \div 52 = 4 \end{aligned}$$

## 🌸 🌸 🌸 トレーニング 🌸 🌸 🌸

類題 6500

- ❶ (0152) ⇨ 類題 6500 P.39 の 7 行目~P.39 の最後

9.5ℓ の油を 1.9ℓ ずつびんに入れます。びんは何本ありますか。次のじゅんじょで求めなさい。

- (1) 9.5ℓ を約 10ℓ, 1.9ℓ を約 2ℓ とみて、答えの見当をつけなさい。  
(式)

答え \_\_\_\_\_

- (2) びんが何本いるかを求める式を書きなさい。



4 (0155) ⇨類題 6500 P.39 の7行目~P.39 の最後  
次のわり算をなさい。

- (1)  $3.2 \div 0.4$  (2)  $1.8 \div 0.9$   
 (3)  $0.56 \div 0.07$  (4)  $7.2 \div 0.08$   
 (5)  $0.45 \div 0.9$  (6)  $0.28 \div 0.4$

5 (0156) ⇨類題 6500 P.39 の7行目~P.39 の最後  
例にならって、次のわり算をなさい。

【例】  $26.6 \div 3.8 = (26.6 \times 10) \div (3.8 \times 10)$   
 $= 266 \div 38 = 7$

$$\begin{array}{r} 7 \\ 38 \overline{) 266} \\ \underline{266} \\ 0 \end{array}$$

- (1)  $28.8 \div 4.8$  (2)  $45.36 \div 1.08$  (3)  $17.92 \div 3.2$

☺ 答え合わせをしてから、次の問題に取り組もう。

6 (0157) ⇨類題 6500 P.39 の7行目~P.39 の最後  
わり算の式に書いて求めなさい。

(1) 4.2 m のひもを 0.7 m ずつに分けたときにできるひもの数  
(式)

答え \_\_\_\_\_

(2) 1.5 l のジュースを 0.3 l ずつコップに入れるときに必要なコップの数  
(式)

答え \_\_\_\_\_

☺ 答え合わせをしよう。

☺ では、筆算のしかたを考えていこう。

☺  $82.8 \div 3.6$  の計算のしかた ☺

$82.8 \div 3.6$  の計算のしかたを考えなさい。

☺ 説明 ☺

- わる数の 3.6 を整数にするために、わる数とわられる数の両方を 10 倍します。

$$\begin{aligned} 82.8 \div 3.6 &= (82.8 \times 10) \div (3.6 \times 10) \\ &= 828 \div 36 \end{aligned}$$

- これを筆算ですると、次のようになります。



$$\begin{array}{c}
 \xrightarrow{10\text{倍する}} \\
 3.6 \overline{) 82.8} \Rightarrow 36 \overline{) 828} \Rightarrow 36 \overline{) 828} \\
 \xleftarrow{10\text{倍する}} \\
 \begin{array}{r}
 23 \\
 36 \overline{) 828} \\
 \underline{72} \\
 108 \\
 \underline{108} \\
 0
 \end{array}
 \end{array}$$

☺ わる数とわられる数の両方を10倍するという事は、両方の数の小数点を1けただけ右にうつすということだよ。では、トレーニングをしよう。

🌸🌸🌸 トレーニング 🌸🌸🌸

7 (0158) P.39の7行目~P.39の最後  
次のわり算をなさい。

(1)  $1.3 \overline{) 24.7}$                       (2)  $6.8 \overline{) 156.4}$                       (3)  $3.7 \overline{) 214.6}$

☺ 答え合わせをしよう。

8 (0159) P.39の7行目~P.39の最後  
次のわり算をなさい。

(1)  $0.45 \overline{) 23.85}$                       (2)  $1.03 \overline{) 71.07}$                       (3)  $0.06 \overline{) 7.68}$

☺ ここでは、わる数とわられる数の両方を100倍して考えるから、両方の数の小数点を2けた右にうつしてから計算すればいいんだね。

9 (0160) P.39の7行目~P.39の最後  
次のわり算を筆算でなさい。

(1)  $40.8 \div 2.4$                       (2)  $739.6 \div 8.6$                       (3)  $772.5 \div 7.5$

(4)  $10.14 \div 0.39$                       (5)  $66.95 \div 1.03$                       (6)  $88.48 \div 6.32$

👉 次もがんばって学習していこう。

~~~~~ ☐ 6.21 ÷ 2.3 の計算のしかた ☐ ~~~~~  
6.21 ÷ 2.3 の計算のしかたを考えなさい。
~~~~~

👉 説明 👉

- わる数の 2.3 を整数にするために、わる数とわられる数の両方を 10 倍します。  
$$6.21 \div 2.3 = (6.21 \times 10) \div (2.3 \times 10)$$
$$= 62.1 \div 23$$
- これを筆算ですると、次のようになります。

10倍する →

$$2.3 \overline{) 6.21} \Rightarrow 2.3 \overline{) 62.1} \Rightarrow 2.3 \overline{) 62.1}$$

← 10倍する

$$\begin{array}{r} 2.7 \\ 2.3 \overline{) 62.1} \\ \underline{46} \phantom{1} \\ 161 \\ \underline{161} \\ 0 \end{array}$$

- 商の小数点は、わられる数の右にうつした小数点にそろえてうちます。

👉 トレーニングをして、<sup>りかい</sup>理解を完全なものにしよう。

🌸🌸🌸 トレーニング 🌸🌸🌸

Ⅹ (0161) P.39 の 7 行目 ~ P.39 の最後  
次のわり算をしなさい。

(1)  $1.7 \overline{) 5.95}$                       (2)  $2.3 \overline{) 15.64}$                       (3)  $6.2 \overline{) 22.32}$

👉 商の小数点は、わられる数の右にうつした小数点にそろえるんだよ。

Ⅺ (0162) P.39 の 7 行目 ~ P.39 の最後  
次のわり算をしなさい。

(1)  $2.6 \overline{) 8.84}$                       (2)  $3.12 \overline{) 7.488}$                       (3)  $0.09 \overline{) 7.416}$

☺ ここで、答え合わせをしておこう。次も計算練習だよ。

㊦ (0163) P.39 の 7 行目～P.39 の最後  
次のわり算を筆算でしなさい。

(1)  $8.48 \div 5.3$

(2)  $7.626 \div 6.2$

(3)  $15.916 \div 0.92$

(4)  $0.552 \div 0.24$

(5)  $6.12 \div 1.8$

(6)  $2.0838 \div 0.23$

☺ 商の小数点の位置<sup>いち</sup>にまちがいがいがないかどうかをたしかめてから、答え合わせをしよう。

教育社上

# 小数でわる筆算のしかた

P.40~P.41の2行目

☺ まず、小数でわる筆算のしかたをまとめておこう。

## 📖 学習 📖

小数でわる筆算は、次のようにします。

- ① わる数とわられる数の小数点を同じけた数だけ右にうつし、わる数を整数に直して計算します。
- ② 商の小数点は、わられる数の右にうつした小数点にそろえてうちます。

$$\begin{array}{r}
 7.6 \\
 2.3 \overline{) 17.48} \\
 \underline{161} \phantom{0} \\
 138 \\
 \underline{138} \\
 0
 \end{array}$$

☺ 小数でわる筆算のしかたはわかったね。では、計算練習をどんどんやっていこう。

## 🌸 トレーニング 🌸

類題 6520

❶ (0164) ⇨類題 6520 P.40~P.41の2行目  
次のわり算をなさい。

(1)  $6.7 \overline{) 48.91}$

(2)  $3.9 \overline{) 97.5}$

(3)  $0.84 \overline{) 57.12}$

(4)  $1.3 \overline{) 3.926}$

(5)  $5.6 \overline{) 207.2}$

(6)  $1.76 \overline{) 5.632}$

☺ ここで、答え合わせをしよう。次も計算練習。

❷ (0165) ⇨類題 6520 P.40~P.41の2行目  
次のわり算をなさい。

(1)  $1.6 \overline{) 67.2}$

(2)  $9.8 \overline{) 46.06}$

(3)  $0.17 \overline{) 9.52}$

(4)  $8.7 \overline{)104.4}$

(5)  $3.8 \overline{)17.86}$

(6)  $0.53 \overline{)0.5565}$

☺ 小数でわる計算にも慣れてきたね。じゃ、次の問題に、取り組もう。

㊦ (0166) ⇨類題 6520 P.40~P.41 の2行目  
次のわり算を筆算でしなさい。

(1)  $75.6 \div 2.1$

(2)  $2.176 \div 0.32$

(3)  $15.77 \div 1.9$

(4)  $29.44 \div 0.64$

(5)  $0.952 \div 0.28$

(6)  $26.79 \div 5.7$

☺ 計算が多くてたいへんだったけど、よくがんばったね。えらいぞ。  
答え合わせをしよう。全部合っていたら、もっとえらいぞ。

☺ 次の計算は、どのようにすればいいかな。

~~~~~ ☺  $2.232 \div 6.2$  の計算 ☺ ~~~~~  
~~~~~  $2.232 \div 6.2$  を筆算でしなさい。 ~~~~~

☺ 説明 ☺

$$\begin{array}{r} 6.2 \overline{)2.2.32} \Rightarrow 6.2 \overline{)2.2.32} \Rightarrow 6.2 \overline{)2.2.32} \\ \underline{186} \\ 372 \\ \underline{372} \\ 0 \end{array}$$

- わる数の6.2を整数に直すために、わる数とわられる数の小数点を1けただけ右にうつします。
- 一の位に商がたちませんから、一の位に0を書き、小数点をうちます。
- あとは、いままでと同じように計算します。

☺ 答えが0.~の形になる小数のわり算の計算練習をしていこう。

4 (0167) ⇨類題 6540 P.40~P.41 の2行目  
次のわり算をなさい。

(1)  $2.6 \overline{)0.78}$

(2)  $0.28 \overline{)0.252}$

(3)  $6.4 \overline{)3.84}$

☺ 計算問題がたくさんあるけど、めげずにがんばろうね。

5 (0168) ⇨類題 6540 P.40~P.41 の2行目  
次のわり算をなさい。

(1)  $3.4 \overline{)1.292}$

(2)  $0.48 \overline{)0.3264}$

(3)  $1.9 \overline{)1.235}$

(4)  $1.2 \overline{)0.8496}$

(5)  $6.7 \overline{)3.886}$

(6)  $7.6 \overline{)0.1748}$

☺ 5題できたら、次へ進もう。できなかつたら、やり直しておこう。

6 (0169) ⇨類題 6540 P.40~P.41 の2行目  
次のわり算を筆算でなさい。

(1)  $1.476 \div 4.1$

(2)  $3.024 \div 7.2$

(3)  $1.9734 \div 5.06$

(4)  $0.1248 \div 7.8$

(5)  $2.904 \div 6.6$

(6)  $1.1932 \div 3.8$

☺ 何題できたかな。ここで答え合わせをしておこう。

# 小数でわる筆算 (25.5 ÷ 0.75, 6 ÷ 2.5 など)

P.40 の 11 行目 ~ P.41 の 2 行目

🐼 さっそく、きょうの学習を始めよう。

👉 25.5 ÷ 0.75 の計算 👈

次のわり算を筆算でしなさい。

(1) 25.5 ÷ 0.75

(2) 864 ÷ 2.7

## 🐼 説明 🐼

(1) 25.5 ÷ 0.75 を筆算ですると、次のようになります。

$$\begin{array}{r}
 0.75 \overline{) 25.5} \\
 \underline{225} \\
 300 \\
 \underline{300} \\
 0
 \end{array}
 \Rightarrow
 \begin{array}{r}
 0.75 \overline{) 25.50} \\
 \underline{225} \\
 300 \\
 \underline{300} \\
 0
 \end{array}
 \Rightarrow
 \begin{array}{r}
 34 \\
 0.75 \overline{) 25.50} \\
 \underline{225} \\
 300 \\
 \underline{300} \\
 0
 \end{array}$$

0を書きたします

- わる数の 0.75 を整数に直すために、わる数とわられる数の小数点を 2 けただけ右にうつします。
  - わられる数は 25.5 ですから、小数点を 2 けた右にうつすとき、けた数がたりません。このようなときは、右にたりない分だけ 0 を書きたします。
  - あとは、いままでと同じように計算します。
- (2) 864 ÷ 2.7 を筆算ですると、次のようになります。

$$\begin{array}{r}
 2.7 \overline{) 864} \\
 \underline{81} \\
 54 \\
 \underline{54} \\
 0
 \end{array}
 \Rightarrow
 \begin{array}{r}
 2.7 \overline{) 864.0} \\
 \underline{81} \\
 54 \\
 \underline{54} \\
 0
 \end{array}
 \Rightarrow
 \begin{array}{r}
 320 \\
 2.7 \overline{) 864.0} \\
 \underline{81} \\
 54 \\
 \underline{54} \\
 0
 \end{array}$$

0を書きたします

- わる数の 2.7 を整数に直すために、わる数とわられる数の小数点を 1 けただけ右にうつします。
- わられる数は 864 ですから、右に 0 を 1 つ書きたして、小数点を 1 けた右にうつします。
- あとは、いままでと同じように計算します。

🐼 どんどん、計算練習をして、力をつけよう。

## 🐼 トレーニング 🐼

類題 6550

1 (0170) ⇨ 類題 6550 P.40 の 11 行目 ~ P.41 の 2 行目  
次のわり算をしなさい。

(1) 
$$0.7 \overline{) 252}$$

(2) 
$$3.6 \overline{) 54}$$

(3) 
$$0.16 \overline{) 28.8}$$

2 (0171) ⇨ 類題 6550 P.40 の 11 行目～P.41 の 2 行目  
次のわり算を筆算でなさい。

(1)  $52.5 \div 1.25$

(2)  $98.8 \div 0.76$

(3)  $348 \div 2.9$

(4)  $56 \div 3.5$

(5)  $70 \div 0.28$

(6)  $352 \div 0.55$

☺ 計算は自信がついてきたね。では、答え合わせをしよう。5 題できたら、一休み。できていなければ、全部できるまでやり直しをしよう。

☺ ここまでは、よくわかったね。じゃ、次に進もう。

~~~~~ ☺  $6 \div 2.5$  の計算 ☺ ~~~~~  
次のわり算をわり切れるまで計算しなさい。
 $6 \div 2.5, \quad 0.9 \div 7.5$
~~~~~

### ☺ 説明 ☺

- $6 \div 2.5$  を筆算ですると、次のようになります。

$$\begin{array}{r} 2.5 \overline{) 6.} \\ \underline{50} \phantom{0} \\ 100 \phantom{0} \\ \underline{100} \\ 0 \end{array} \Rightarrow 2.5 \overline{) 6.0} \Rightarrow 2.5 \overline{) 6.0} \begin{array}{r} 2.4 \\ \underline{50} \\ 100 \\ \underline{100} \\ 0 \end{array}$$

↑  
0 を書きたします

← 0 をつけます

- $0.9 \div 7.5$  を筆算ですると、次のようになります。



$$7.5 \overline{)0.9} \Rightarrow 7.5 \overline{)0.9.0} \Rightarrow 7.5 \overline{)0.9.0} \begin{array}{r} 0.12 \\ 75 \\ \hline 150 \\ 150 \\ \hline 0 \end{array}$$

一の位に商がたたないとき、.0を書き添えます

0  
を  
つ  
け  
ま  
す

🌸🌸🌸 トレーニング 🌸🌸🌸

類題 6560

3 (0172) ⇨ 類題 6560 P.40 の 11 行目～P.41 の 2 行目  
次のわり算をわり切れるまで計算しなさい。

- (1)  $0.4 \overline{)3}$                       (2)  $1.6 \overline{)2.4}$                       (3)  $1.2 \overline{)1.2}$

🗨️ 答え合わせをしよう。

4 (0173) ⇨ 類題 6560 P.40 の 11 行目～P.41 の 2 行目  
次のわり算をわり切れるまで計算しなさい。

- (1)  $3.2 \overline{)4.8}$                       (2)  $0.92 \overline{)2.07}$                       (3)  $0.8 \overline{)3}$
- (4)  $1.28 \overline{)0.8}$                       (5)  $37.5 \overline{)6}$                       (6)  $0.58 \overline{)1.827}$
- (7)  $3.5 \overline{)7.14}$                       (8)  $4.8 \overline{)5.04}$                       (9)  $0.64 \overline{)0.56}$
- (10)  $1.25 \overline{)7.5}$                       (11)  $1.75 \overline{)33.6}$                       (12)  $3.75 \overline{)18}$

☹ 計算ミスはしていないね。では、答え合わせをしよう。  
11題できていたら、たいへんりっぱです。

☹ 小数でわる計算のしかたはもうだいじょうぶだね。では、たし算やひき算とわり算がまじっている計算について学習していこう。

☺ 小数のわり算をふくむ計算 ☺

次の計算をしなさい。

(1)  $6.1 - 5.7 \div 3.8$

(2)  $11.27 \div (3.3 + 1.6)$

☹ 説明 ☹

(1) +, - と ÷ では, ÷ をさきに計算します。

$$\begin{aligned} & 6.1 - 5.7 \div 3.8 \\ & = 6.1 - 1.5 \\ & = 4.6 \end{aligned}$$

(筆算)

$3.8 \overline{) 5.7}$	$\begin{array}{r} 1.5 \\ 3.8 \\ \hline 7.4 \\ \hline 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} 6.1 \\ 1.5 \\ \hline 4.6 \end{array}$
------------------------	---------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------

(2) ( ) のあるときは, ( ) の中をさきに計算します。

$$\begin{aligned} & 11.27 \div (3.3 + 1.6) \\ & = 11.27 \div 4.9 \\ & = 2.3 \end{aligned}$$

(筆算)

$\begin{array}{r} 3.3 \\ + 1.6 \\ \hline 4.9 \end{array}$	$\begin{array}{r} 2.3 \\ 4.9 \overline{) 11.27} \\ \underline{98} \\ 147 \\ \underline{147} \\ 0 \end{array}$
-----------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

計算のじゅんじゅは覚えているね。

- ふつうは左から順にします。
- +, -, ÷ とでは, ÷ をさきにします。
- ( ) のあるときは, ( ) をさきにします。

🌸 🌸 トレーニング 🌸 🌸 🌸

類題 6570

☺ (0174) ⇨ 類題 6570 P.40 の 11 行目 ~ P.41 の 2 行目  
次の計算をしなさい。

(1)  $3.23 \div 0.95 \div 0.4$

(2)  $13.14 \div 1.8 \times 3.5$

(3)  $2.4 \times 50.6 \div 9.2$

(4)  $52.93 \div 7.9 \times 4.4$

☺ 前の問題の計算は、左から順にすればいいね。

6 (0175) ⇨類題 6570 P.40 の 11 行目～P.41 の 2 行目  
次の計算をなさい。

(1)  $38.22 \div 2.1 + 6.4$

(2)  $84.2 - 46.92 \div 13.8$

(3)  $9.17 + 2.34 \div 3.9$

(4)  $7.3 - 4.23 \div 0.9$

☺ +, - より ÷ をさきに計算するんだね。答え合わせをしてから、次の計算をやってみよう。

7 (0176) ⇨類題 6570 P.40 の 11 行目～P.41 の 2 行目  
次の計算をなさい。

(1)  $(29 - 11.4) \div 1.1$

(2)  $13.5 \div (5.6 - 4.7)$

(3)  $(1.91 + 0.88) \div 3.1$

(4)  $29.58 \div (1.3 + 7.4)$

☺ ( ) の中をさきに計算すればいいんだね。  
では、答え合わせをしてから、次の文章題に取り組もう。


8 (0177) ⇨類題 6570 P.40 の 11 行目～P.41 の 2 行目

ミルクが、1.5ℓ 入りのびんと 0.92ℓ 入りのびんにはいっています。このミルクを 0.22ℓ ずつ分けると、コップは何こいりますか。

(式)

(筆算)

答え \_\_\_\_\_

 さあ、答え合わせをしよう。

教育社トレニングパートナーズ

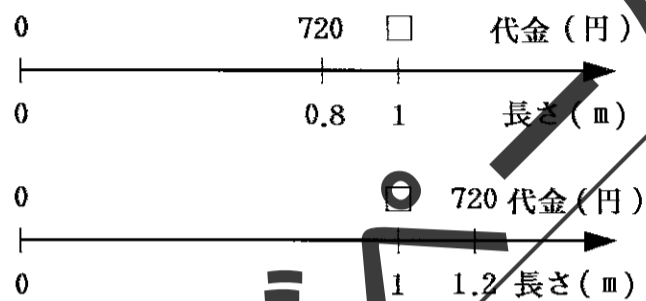
# わる数と商の関係, 積と商の関係

P.41の3行目~P.42の9行目

☺ かける数と積せき かんけいの関係はもう学習したね。今度はわる数と商しょうの関係を調べよう。

## ☺ わる数と商しょう かんけいの関係 ☺

0.8 mの代金が720円のぬのと、  
1.2 mの代金が720円のぬのがあります。  
それぞれのぬのの1 mのねだんを求め、720円と比べなさい。



## ☺ 説明 ☺

- 1 mのねだんは、(代金) ÷ (ぬのの長さ) で求めます。
- 0.8 mで720円のぬのと、1.2 mで720円のぬのの1 mのねだんを求め、720円と比べましょう。

$$720 \div 0.8 = 900 \dots\dots 900 \text{円} > 720 \text{円}$$

$$720 \div 1.2 = 600 \dots\dots 600 \text{円} < 720 \text{円}$$

わられる数    わる数    商しょう

- ぬのの長さ0.8 mのように、1 mより短いぬのの代金が720円の時、1 mのねだんは720円より高くなります。

このことから、次のことがいえます。

$$\begin{array}{l} \text{(わる数)} < 1 \longrightarrow \text{(商)} > \text{(わられる数)} \\ 0.8 < 1 \longrightarrow 720 \div 0.8 > 720 \end{array}$$

- ぬのの長さ1.2 mのように、1 mより長いぬのの代金が720円の時、1 mのねだんは720円より安くなります。

このことから、次のことがいえます。

$$\begin{array}{l} \text{(わる数)} > 1 \longrightarrow \text{(商)} < \text{(わられる数)} \\ 1.2 > 1 \longrightarrow 720 \div 1.2 < 720 \end{array}$$

## ☺ 学習 ☺

- 1よりも小さい数でわると、商しょうはわられる数より大きくなります。
- 1よりも大きい数でわると、商はわられる数より小さくなります。

☺ では、トレーニングをしていこう。

🌸🌸🌸 トレーニング 🌸🌸🌸

類題 6580

**1** (0178) ⇨類題 6580 P.41 の3行目～P.42 の9行目

次のわり算をして、(1)から(3)に当てはまるものを選び、記号で答えなさい。

- ㉔  $2.4 \div 0.4$                       ㉕  $2.4 \div 1$                       ㉖  $2.4 \div 1.2$   
 ㉗  $0.4 \div 2$                       ㉘  $0.4 \div 0.8$                       ㉙  $0.4 \div 1$

- (1) 商がわられる数より小さいもの [                      ]  
 (2) 商とわられる数が等しいもの [                      ]  
 (3) 商がわられる数より大きいもの [                      ]

**2** (0179) ⇨類題 6580 P.41 の3行目～P.42 の9行目

次の□に当てはまる等号か不等号を書きなさい。

- (1)  $63 \div 0.9$  □  $63$                       (2)  $42 \div 10.5$  □  $42$   
 (3)  $75 \div 1$  □  $75$                       (4)  $7.2 \div 1.8$  □  $7.2$   
 (5)  $0.9 \div 0.75$  □  $0.9$                       (6)  $8.1 \div 1.2$  □  $8.1$

☺ じっさいに計算してたしかめてみよう。  
 わられる数が小数でも整数でも、<sup>しょう</sup>商とわられる数の大きさの<sup>かんけい</sup>関係は同じだよ。

**3** (0180) ⇨類題 6580 P.41 の3行目～P.42 の9行目

次のわり算のうち、商がわられる数より小さいものを選び、記号で答えなさい。

- ㉚  $3.12 \div 0.13$                       ㉛  $17.92 \div 2.8$                       ㉜  $55.9 \div 6.5$   
 ㉝  $8.3 \div 1$                       ㉞  $2.673 \div 0.99$                       ㉟  $2278 \div 3.4$

☺ わる数が1より大きいものだけを選べばいいね。では、答え合わせをしよう。

☺ 次の学習は少しややこしそうだけど、説明をよく読めばすぐわかるよ。

~~~~~ □  $6.5 \times \square = 54.6$  の□の求め方 □ ~~~~~  
^{めんせき}面積が 54.6m^2 の長方形の形をした庭をつくります。
 たての長さを 6.5m にすると、横の長さは何 m にすればよいですか。
 ~~~~~

**説明**

・ <sup>めんせき</sup>長方形の面積 = たて  $\times$  横 ですから、横の長さを □  $\text{m}$  とすると

$$6.5 \times \square = 54.6$$

となります。

・ □ は次のようにして求めます。

$$6.5 \times \square = 54.6$$

$$\square = 54.6 \div 6.5$$

$$= 8.4$$

答え  $8.4\text{m}$

$$\begin{array}{r} 8.4 \\ 6.5 \overline{) 54.6} \\ \underline{520} \phantom{0} \\ 260 \\ \underline{260} \\ 0 \end{array}$$

- $6.5 \times \square$  の  $\square$  に 8.4 を当てはめて、積が 54.6 になることをたしかめましょう。  
 $6.5 \times 8.4 = 54.6$

$$\begin{array}{r} 6.5 \\ \times 8.4 \\ \hline 260 \\ 520 \\ \hline 54.6 \end{array}$$

🌸🌸🌸 トレーニング 🌸🌸🌸

類題 6590

- 4 (0181) ⇨類題 6590 P.41 の 3 行目～P.42 の 9 行目  
 次の  $\square$  に当てはまる数を求めなさい。

(1)  $1.2 \times \square = 7.2$  (2)  $\square \times 3.2 = 9.6$

☺ 答え合わせをしっかりとやろう。次も同じような問題だよ。全部できるようにがんばろう。

- 5 (0182) ⇨類題 6590 P.41 の 3 行目～P.42 の 9 行目  
 次の  $\square$  に当てはまる数を求めなさい。

(1)  $7.5 \times \square = 70.5$  (2)  $\square \times 9.8 = 122.5$

(3)  $8.5 \times \square = 132.6$  (4)  $\square \times 1.65 = 12.54$

☺ 次は文章題だよ。□を使ってかけ算の式をつくってから、これをわり算の形に直して答えを求めよう。

- 6 (0183) ⇨類題 6590 P.41 の 3 行目～P.42 の 9 行目  
 次のような場合の「ある数」は、どんな計算で求められますか。  
 ある数を□とし、□を使った式を書き、□に当てはまる数を求めなさい。

(1) ある数に 0.6 をかけると 180 になりました。

(式)

答え \_\_\_\_\_

(2) 0.8 にある数をかけると 5.6 になりました。

(式)

答え \_\_\_\_\_

☺ もう少しトレーニングを続けよう。少しずつむずかしくなるから、気をひきしめてがんばろう。

- 7 (0184) ⇨類題 6590 P.41 の 3 行目～P.42 の 9 行目  
 面積が  $3 \text{ m}^2$  の長方形の池をつくります。横の長さを  $1.2 \text{ m}$  にすると、たての長さは何  $\text{m}$  にすればよいですか。

たての長さを□㎢としてかけ算の式に表してから、答えを求めなさい。

(式)

(筆算)

答え

☺ トレーニングを続けてやっぴこう。

8 (0185) ⇨類題 6590 P.41 の3行目~P.42 の9行目  
ある数を求めなさい。

(1) ある数に5.1をかけたとき、計算をまちがえて、答えが  
1.326になりました。

正しい答えはこの10倍です。ある数を求めなさい。

(式)

答え

(2) 8.5にある数をかけたとき、計算をまちがえて、答えが  
3910になりました。

正しい答えはこの $\frac{1}{100}$ です。ある数を求めなさい。

(式)

答え

☺ 正しい答えをだしてから、ある数を求めるんだね。では、答え合わせをしておこう。

教育社



# わり切れない小数のわり算

P.42 の 10 行目～P.44

📖 小数のわり算のあまりについて学習するよ。

## 📖 小数のわり算のあまり 📖

15ℓの水があります。この水を3.8ℓ入りのかんに入れると、何かん取れて、何ℓあまりですか。

## 📖 説明 📖

- 何かん取れて、何ℓあまるかを求める式は、次のようになります。

$$15 \div 3.8$$

- 15ℓと3.8ℓを<sup>たんい</sup>dl単位で考えて、計算すると次のようになります。

$$15 \text{ ℓ} = 150 \text{ dl}, \quad 3.8 \text{ ℓ} = 38 \text{ dl}$$

$$150 \div 38 = 3 \text{ あり } 36$$

- あまり36というのは、あまり36dlのことで、36dl = 3.6ℓですから3かん取れて3.6ℓあまる

といえます。

- 水は3.6ℓあまるのですから、ℓ単位のまま計算したときのあまりは3.6になります。

- ですから、 $15 \div 3.8$ のあまりは3.6で、あまりの小数点は、わられる数もとの小数点にそろえます。

- あまりのあるわり算では、次の式に当てはめてたしかめをします。

$$(\text{わる数}) \times (\text{商}) + (\text{あまり}) = (\text{わられる数})$$

ここでは

$$\text{わる数} \cdots 3.8, \text{ 商} \cdots 3, \text{ あまり} \cdots 3.6, \text{ わられる数} \cdots 15$$

ですから、 $3.8 \times 3 + 3.6$ を計算すると15になるかどうかを調べます。

$$3.8 \times 3 + 3.6$$

$$= 11.4 + 3.6$$

$$= 15$$

$3.8 \times 3 + 3.6$ を計算すると15になりますから

$$15 \div 3.8 = 3 \text{ あり } 3.6$$

は正しいといえます。

$$\begin{array}{r} 3 \\ 3.8 \overline{) 15.0} \\ \underline{11.4} \phantom{0} \\ 3.6 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3.8 \\ \times 3 \\ \hline 11.4 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 11.4 \\ + 3.6 \\ \hline 15.0 \end{array}$$

📖 ここで、小数のわり算のあまりについてまとめておこう。

## 📖 学習 📖

小数のわり算で、あまりを求めるときは、あまりの小数点は、わられる数もとの小数点にそろえてうちます。

$$\begin{array}{r} 3 \\ 3.8 \overline{) 15.0} \\ \underline{11.4} \phantom{0} \\ 3.6 \end{array}$$

📖 さっそく、トレーニングをしよう。

1 (0186) ⇨類題 6610 P.42 の 10 行目～P.44

次の計算のあまりに小数点をうちなさい。また

$$(\text{わる数}) \times (\text{商}) + (\text{あまり}) = (\text{わられる数})$$

に当てはめてたしかめをしなさい。

(1)  $148.6 \div 3.3$

$$\begin{array}{r} 45 \\ 3.3 \overline{)148.6} \\ \underline{132} \phantom{0} \\ 166 \\ \underline{165} \\ 1 \end{array}$$

(たしかめ)

(2)  $37.42 \div 2.65$

$$\begin{array}{r} 14 \\ 2.65 \overline{)37.42} \\ \underline{265} \phantom{0} \\ 1092 \\ \underline{1060} \\ 32 \end{array}$$

(たしかめ)

(3)  $21.13 \div 0.25$

$$\begin{array}{r} 84 \\ 0.25 \overline{)21.13} \\ \underline{200} \phantom{0} \\ 113 \\ \underline{100} \\ 13 \end{array}$$

(たしかめ)

☺ あまりの小数点の位置は、わられる数のもとの小数点にそろえるんだね。

では、どんどん計算練習をしよう。また、計算が終わったら、<sup>かなら</sup>必ずたしかめをしよう。

2 (0187) ⇨類題 6610 P.42 の 10 行目～P.44

商を小数第 1 位まで求め、あまりも出しなさい。

(1)  $2.6 \overline{)29.3}$

(2)  $0.76 \overline{)12.5}$

(3)  $1.74 \overline{)42}$

(4)  $9.2 \overline{)371}$

(5)  $1.3 \overline{)47.03}$

(6)  $8.72 \overline{)480.3}$

☺ たしかめはしたね。では、答え合わせをしよう。

3 (0188) ⇨類題 6610 P.42 の 10 行目～P.44

次の問いに答えなさい。

(1) 25ℓのしょう油を、0.9ℓはいるびんに分けていくと、何本できて、何ℓあまりますか。

(式)

(筆算)

答え \_\_\_\_\_

(2) 3.5 m のひもから、0.48 m のひもは何本取れて、何 m 余りますか。

(式)

(筆算)

答え

☺ 小数のわり算で、わり切れないときのあまりの求め方はわかったね。では、答え合わせをしよう。答え合わせはきちんとしなきゃだめだよ。

☺ 商を概数で求める学習だよ。概数とは、およその数のことだよ。

☺ 商を概数で求める ☺

119.1 ÷ 14.8 の商を、四捨五入によって、上から2けたの概数で求めなさい。

☺ 説明 ☺

- 商を上から2けたの概数で求めるときは、上から3けた目まで計算し、その位を四捨五入します。
- 119.1 ÷ 14.8 を上から3けた目まで計算すると  
8.04  
です。
- 8.04 の上から3けた目の数字4を四捨五入すると  
8.0  
になります。
- 四捨五入して8.0となったとき、この0はそのまま書いておきます。

$$\begin{array}{r}
 8.04 \\
 14.8 \overline{)119.1} \\
 \underline{1184} \phantom{0} \\
 700 \\
 \underline{592} \\
 108
 \end{array}$$

☺ 四捨五入によって、上から2けたの概数にするときは、上から3けた目の数字が  
0, 1, 2, 3, 4 のときは 切り捨て  
5, 6, 7, 8, 9 のときは 切り上げ  
だったね。このことを頭に入れてトレーニングしよう。

☺ トレーニング ☺

類題 6600

④ (0189) ☺ 類題 6600 P.42 の 10 行目 ~ P.44

次の商を、四捨五入によって、上から2けたの概数で求めなさい。

(1)

$$0.9 \overline{)43}$$

(2)

$$8.2 \overline{)16.03}$$

(3)

$$3.72 \overline{)3.4}$$

☺ 答え合わせをしてから、次へ進もう。

今度は、商を四捨五入によって、一の位まで求めてみよう。  
小数第1位まで計算し、その位を四捨五入するんだよ。

5 (0190) ⇨類題 6600 P.42 の 10 行目～P.44

次の商を、四捨五入によって、一の位まで求めなさい。

(1) 
$$0.07 \overline{)65}$$

(2) 
$$4.28 \overline{)82.5}$$

(3) 
$$1.3 \overline{)27.2}$$

☺ ここで、答え合わせをしておこう。次は、文章題だよ。

6 (0191) ⇨類題 6600 P.42 の 10 行目～P.44

わり算の式に書いて求めなさい。

(1) 1ℓの重さが0.72kgのガソリンがあります。このガソリン6.58kgでは、約何ℓになりますか。

答えは、四捨五入によって、上から2けたの概数<sup>かいつう</sup>で求めなさい。

(式)

(筆算)

答え

(2) 3.8ℓのあずきの重さは、2.96kgです。このあずき1ℓの重さは約何kgですか。

答えは、四捨五入によって、小数第2位まで求めなさい。

(式)

(筆算)

答え

☺ 文章題もすらすらできたね。では、答え合わせをしておこう。

# 小数倍とわり算

P.46~P.47

☺ きょうもはりきって始めよう。

☐ 1.2ℓは0.8ℓの何倍? ☐

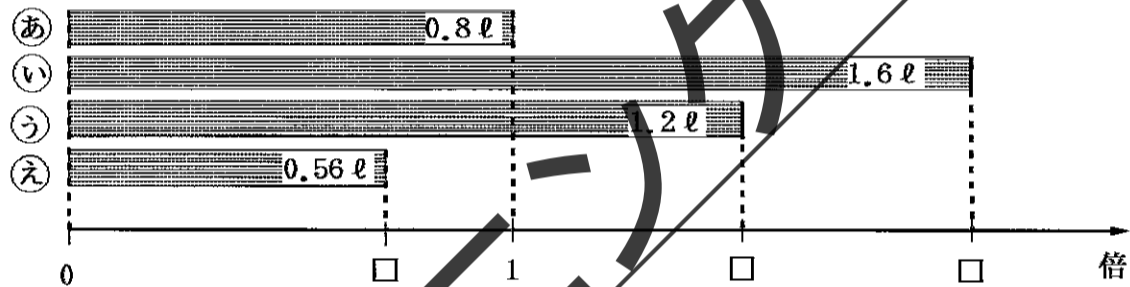
4つのびん①, ②, ③, ④に, ジュースが次の量だけはいっています。

①……0.8ℓ, ②……1.6ℓ, ③……1.2ℓ, ④……0.56ℓ

①の量をもとにすると, ②, ③, ④の量はそれぞれ何倍に当たりますか。

## ☺ 説明 ☺

- 図に表すと, 次のようになります。



- ②, ③, ④の量が, ①の量の何倍に当たるかは, それぞれ次のようにして求められます。
  - ②  $1.6 \div 0.8 = 2$  → 2倍
  - ③  $1.2 \div 0.8 = 1.5$  → 1.5倍
  - ④  $0.56 \div 0.8 = 0.7$  → 0.7倍
- ②の場合の2倍というのは, 0.8ℓを1とみたとき, 1.6ℓが2に当たることを表します。同じように, ③の場合の1.5倍, ④の場合の0.7倍というのは, 0.8ℓを1とみたとき, 1.2ℓが1.5に当たることを表し, 0.56ℓが0.7に当たることを表します。
- 0.8ℓを2倍, 1.5倍, 0.7倍すると, それぞれ次のようになります。
  - $0.8 \times 2 = 1.6$  → 1.6ℓ
  - $0.8 \times 1.5 = 1.2$  → 1.2ℓ
  - $0.8 \times 0.7 = 0.56$  → 0.56ℓ
- ですから, 答えはそれぞれ2倍, 1.5倍, 0.7倍で正しいといえます。
- ここまでのことから, 次のことがいえます。
  - ある大きさが, もとにする大きさの何倍に当たるかは, 小数の場合でも, わり算で求められます。

☺ 説明はわかったね。では, トレーニングをしよう。

## 🌸🌸🌸 トレーニング 🌸🌸🌸

類題 6620

❶ (0192) ⇨類題 6620 P.46~P.47

次の答えを求めなさい。

- (1) 6.3kgは, 0.7kgの何倍ですか。  
(式)

答え \_\_\_\_\_

- (2) 1.4kg は、0.7kg の何倍ですか。  
(式)

答え \_\_\_\_\_

☺ できましたか。0.7に(1), (2)の答えをかけると、それぞれ6.3, 1.4になることをたしかめてから、答え合わせをしよう。  
いままでの問題は暗算でできたね。今度は筆算をきちんとして答えを求めよう。

- 2 (0193) ⇨類題 6620 P.46~P.47  
次の□に当てはまる数を求めなさい。

- (1) 28.8cm は9.6cm の□倍です。  
(式)

(筆算)

答え \_\_\_\_\_

- (2) 3.15kg は12.6kg の□倍です。  
(式)

(筆算)

答え \_\_\_\_\_

☺ 答え合わせをしてから、次の問題に取り組もう。3分でしあげよう。

- 3 (0194) ⇨類題 6620 P.46~P.47  
次の問いに答えなさい。

- (1) まさみさんの家からA駅までは3.8km, B駅までは30.4km  
あります。A駅までの道のりはB駅までの道のりの何倍といえ  
ますか。  
(式)

(筆算)

答え \_\_\_\_\_

- (2) じゅん子さんの体重は27.8kgで、お母さんの体重は41.7kg  
です。  
お母さんの体重は、じゅん子さんの体重の何倍に当たりま  
すか。  
(式)

(筆算)

答え \_\_\_\_\_

- (3) ひろし君の家の東側の花だんの面積は $8.4\text{m}^2$ で、西側の花だ  
んの面積は $4.8\text{m}^2$ です。  
東側の花だんの面積は、西側の花だんの面積の何倍に当たり  
ますか。  
(式)

(筆算)

答え \_\_\_\_\_

☺ さあ、がんばってすすめていこう。

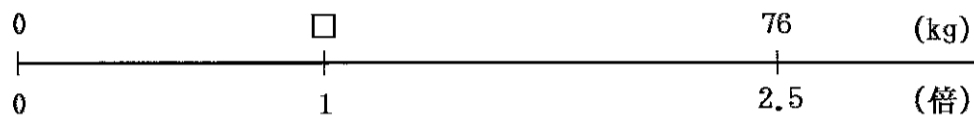
~~~~~ ♡ □ kg の 2.5 倍が 76kg ♡ ~~~~~

のぶ子さんのお父さんの体重は 76kg で、これはのぶさんの体重の 2.5 倍に当たります。
 のぶさんの体重は何 kg ですか。

~~~~~

☺ 説明 ☺

- のぶさんの体重を □ kg として図に表すと次のようになります。



- のぶさんの体重 □ kg の 2.5 倍が、お父さんの体重の 76kg ですから、これをかけ算の式に表すと

$$\square \times 2.5 = 76$$

となります。

- □ を求めるには、次のようにわり算の式に直します。

$$\square \times 2.5 = 76$$

$$\square = 76 \div 2.5$$

$$= 30.4$$

答え 30.4kg

$$\begin{array}{r} 30.4 \\ 2.5 \overline{)76.0} \\ \underline{75} \phantom{0} \\ 100 \\ \underline{100} \\ 0 \end{array}$$

☺ □ は 30.4 と求めることができましたね。これを □ × 2.5 に当てはめてみましょう。

30.4 × 2.5 となりますね。この積が 76 だったら求めた答えが正しいということです。

🌸🌸🌸 トレーニング 🌸🌸🌸

類題 6630

4 (0195) ⇨ 類題 6630 P.46~P.47  
 次の □ に当てはまる数を求めなさい。

- (1) □ の 1.5 倍は 3 です。

(式)

答え \_\_\_\_\_

- (2) □ の 2.5 倍は 7.5 です。

(式)

答え \_\_\_\_\_

- (3) □ の 3.2 倍は 1.6 です。

(式)

答え \_\_\_\_\_

☺ (1) は、□ × 1.5 = 3 だから □ = 3 ÷ 1.5 として計算するんだよね。□ が求められたら □ × 1.5 に当てはめてごらん。積が 3 なら答えは正しいよ。では、続けてがんばろう。

5 (0196) ⇨ 類題 6630 P.46~P.47

ある数を □ として、かけ算の式にしてからある数を求めなさい。

- (1) ある数の12.4倍は105.4です。  
(式)

(筆算)

答え

- (2) ある数の0.85倍は81.6です。  
(式)

(筆算)

答え

☺ 今度は文章題にちょうせんしよう。

6 (0197) ⇨類題 6630 P.46~P.47

すなのはいった2つのふくろA, Bがあります。Aの重さは56.7kgで、これはBの重さの4.5倍に当たります。次の問いに答えなさい。

- (1) Bの重さを□kgとして、かけ算の式に表しなさい。

[ ]

- (2) (1)の式から、Bの重さを求めなさい。  
(式)

(筆算)

答え

☺ 文章題もじゅんじょよくやればかんたんだね。次もがんばろう。

7 (0198) ⇨類題 6630 P.46~P.47

□を使ったかけ算の式にしてから答えを求めなさい。

- (1) 高さ6.3mの木があります。これは、へいの高さの4.5倍に当たります。へいの高さは何mですか。

(式)

(筆算)

答え

- (2) まもるさんの家から学校までの道のりは0.8kmで、これは、まもるさんの家から図書館までの道のりの0.25倍に当たります。まもるさんの家から図書館までの道のりを求めなさい。

(式)

(筆算)

答え

☺ 答えを□に当てはめてたしかめてみたかな。たしかめてから答え合わせをしてくらん。合っているはずだよ。